

‘19(平成31)年1月31日



2月釜小だよ

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>

夢中になれるもの

副校長 川村 恵子

1月13日(日)に能見台中央公園で、ソフトボールチームに所属している子どもたちの学校対抗戦がありました。地域のソフトボールチームで活躍している本校の子どもたちも、釜利谷小学校の名前を背負って参加していました。開会式で6年の萩原一輝さんが選手宣誓をすると、「立派ですね。」と他校の校長先生が褒めてくださり、私まで誇らしくなりました。試合でも相手チームの投手が投げる剛速球にひるむことなくバットを振り当てる姿や、相手選手が打って飛んでいくボールを最後まであきらめずに追っていく姿など、胸が熱くなる場面がいくつもあり、応援にも力が入りました。

先週は、1月30日(水)に磯子公会堂で行われた金沢区個別支援学級合同学習発表会の演技を、4組の子どもたちに見せてもらう機会がありました。曲に合わせてテンポよくリズムカルに踊る様子や、手先まで意識してポーズする姿、笑顔いっぱい楽しそうな雰囲気が、見ている私に元気をくれました。6年生の子どもたちの個人演技も素晴らしく、一人ひとりが自信をもって取り組んでいました。



好きなことや夢中になれることがあることは、とても幸せだと思います。それが勉強であっても、運動であっても、遊びであってもよいと思うのです。それを極めようとする姿は、人の心をも動かします。また、極めるときに仲間やライバルが登場し、切磋琢磨しながら互いを理解しようとする気持ちが育ちます。目標があることで、つまずいてもそれを乗り越えやりぬこうとする強さを身につけることができます。好きなことや夢中になれることが見つかるタイミングは人それぞれです。いつそのチャンスが訪れるかはわかりません。でも一人ひとり、いつかはそうしたものに会う時が必ずやってくると思います。

学校では、自分の知らないことにたくさん出会うことができます。自分と違う感じ方、考え方の人に出会うことができます。好きなことや夢中になれることを見つけるチャンスが学校にはあふれています。

子どもたちがその時を見逃さないように、夢中になれるものが見つかりますように、とそんな願いを日々もちながら、私も子どもたちに負けないように、新たに夢中になれるものを見つけていきたいと思っています。